

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1 活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	32:農業
具体的な施策【施策】	68:担い手の確保・育成
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定農業者の認定を進めるとともに、関係施策などの活用を図りながら、個々の経営改善を支援します。</li> <li>・ 新規就農者の農業経営に必要な知識・技能の習得を支援し、就農定着を図ります。</li> <li>・ 青年農業者が自主的に取り組む学習活動などを支援し、将来の農業経営者を育成します。</li> <li>・ 女性農業者の経営者意識の醸成を図り、農業経営参画を進めます。</li> <li>・ 認定農業者や集落営農組織などの地域内の合意に基づく中心経営体を育成し、地域農業の生産性向上や生産活動の維持に取り組めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_農林水産政策課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の農地集積対策事業により一定の農地集積を行った農業者に対し機械導入等に係る費用の助成を行い担い手等への農地の集積促進を図った。</li> <li>・ 農業委員会や関係機関と連携し、人・農地プランの実質化を行い、各地域の農地や担い手の将来の方向性を定めた。</li> <li>・ 農業生産条件の不利な中山間地域に対して、国や県の支援事業を活用し、集落や団体の取組を支援することで、農地の維持保全や生産性の向上などを図った。</li> <li>・ 認定農業者制度の普及・啓蒙を推進するとともに、農業者に対して農業経営・簿記や農業技術者養成講座などの各種研修会を計画的に実施し、農業経営の確立や農業者の技術向上を図った。</li> <li>・ 経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対して農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、次世代の人材となる青年就農者の確保に努めた。</li> <li>・ 就農直後の新規就農者をはじめ、経営課題を抱える農業者への指導、支援及び認定農業者等の相談業務・支援業務を行った。特に、就農2年以下の新規就農者に対しては、訪問の頻度を増やし重点的なフォローを実施した。</li> <li>・ 生活研究グループの自主活動を支援し加工品作りを実施した。</li> <li>・ 山村活性化支援事業に取り組む坂本、東陽、泉の3地域協議会に対して、つなぎ資金の貸付を行い、円滑な事業実施を推進した。その結果、坂本では地域特産品や地元食材、ジビエを用いた商品開発、農家レストラン向けメニュー開発や限定オープン、収穫体験ツアーの実施、東陽では生姜を活用した商品開発、地域資源を活用した加工品開発及び販路開拓、泉では地域資源を活用した商品開発及び販路開拓などの成果につながった。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	担い手の確保や育成に一定の成果が出ているものの、高齢化や後継者不足に歯止めがかからず人材確保が課題となっている。担い手の確保・育成につながる効果の高い事業の創設が必要である。 また、7月豪雨災害により被災した地域では、今後の復旧・復興の状況に合わせた事業の見直し等が必要である。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域農業の生産性向上や生産活動の維持、優良農地の適正管理・保全のため、担い手や集落営農組織などの中心経営体を育成し、遊休農地や離農に伴い空いた農地などの円滑な集積につながる事業を継続する。</li> <li>・ 関係機関と連携し、認定農業者制度の更なる周知を図り、認定農業者の確保に努める。</li> <li>・ 支援体制や事業の充実を図り、新規就農者の確保や育成、女性農業者の農業経営参画を推進する。</li> <li>・ 中山間地域においては、生産性の向上や所得の安定化につながる事業を推進し、農地や生産活動の維持に努めながら、地域外からの人材確保も視野に広報活動を実施する。</li> <li>・ 災害からの早期復興をめざし、今後も継続的に事業を進めるために、関係団体との協議等を継続し、新規事業に取り組む。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	農業委員会_農業委員会事務局
	現状（進捗状況）	農業経営の規模拡大、農地の集団化、担い手への集積を目的とした農地中間管理機構（農業公社）の特例事業を活用した農地売買等事業を実施し、担い手等への農地集積に取り組んだ。また、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定による農地の有効利用に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	農地の貸し借りにおける、農地法及び基盤法による手続きを行っていない口頭契約（ヤミ小作）等の解消を図っていく必要がある。
	第2期計画の方向性	農地集積・集約化のための農地の出し手及び受け手との調整活動（マッチング）や情報提供などの取組を推進する。
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	32:農業
具体的な施策【施策】	69:需要に応じた農産物の生産振興
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存作物の安定供給をはじめ、新規導入作物の集出荷施設整備などへの支援とともに、これまで以上に市場や消費者ニーズに対応できる供給体制の構築を図ります。</li> <li>・化学肥料や農薬の使用量低減、生物多様性保全など、環境に配慮した熊本グリーン農業などへの取組みを支援するとともに、その取組みを広く消費者へ周知します。</li> <li>・良好な生産環境を確保するとともに、農産物の生産から出荷・販売における安全性の向上を図るため、GAPへの取組みやG I登録申請の取組みを支援します。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 農林水産政策課
	現状（進捗状況）	土壌分析診断 520件
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	市民が健康で充実した生活を送るためには、健全な食生活の確立・実施が重要であり、生涯にわたっての心身の健康と豊かな人間性を育むための「食」への理解と安全安心な地元食材への理解を更に進める必要があると考える。 土壌分析診断の農業者負担の在り方、診断結果の活用方法、土壌分析診断事業の周知方法についての検討が必要。
	第2期計画の方向性	地域農産物を活用した食品や農産物への重要性を広く伝えるべく、地域農産物を紹介したホームページサイトの運営・活用を行うことにより、今後の本市農業振興と地産地消を推進する。 土壌分析診断については、JAや熊本県などの関係機関と連携した分析診断結果の活用を行い、生産性の向上や経費節減を図る。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	農林水産部 農業振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学肥料や農薬使用低減等の取組である環境保全型農業推進事業を実施し、環境に配慮した農業の推進を行った。</li> <li>・農産物の安定供給を図るため、トマト黄化葉巻病対策チラシの市内全戸配布や、生産農家へ耐病性品種の導入支援を行った。</li> <li>・品質の特性が産地と結びついている農産物（い草・晩白柚・生姜・塩トマト）について、地理的表示（GI）の登録申請を支援し、晩白柚と生姜が令和2年3月、塩トマトが令和3年10月に登録された。（い草は平成28年登録済）</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止や水資源の涵養等の観点から環境保全型農業の効果をさらに高める必要がある。</li> <li>・5～6月の高温期に発生するトマトの黄変果や黄化葉巻病による被害が毎年発生している。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理対策や耐病性品種の導入等、周知の徹底及びニーズにあった事業を事業を行う必要がある。</li> <li>・持続可能な農業を展開していくため、農業関連団体と行政が「八代市の農業の将来像」について議論する場を創出し、様々な環境について検討・実証を進める。</li> <li>・環境に配慮した農業を展開するため、省エネ型施設園芸設備の導入や化学肥料・化学農薬使用を低減する環境保全型農業の更なる推進を図る。</li> <li>・地理的表示（GI）の登録された農産物については、協議会や関係機関と連携し、周知啓発活動を行い、ブランド力向上及び販売の促進を図る。</li> </ul>
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	32:農業
具体的な施策【施策】	70:農業生産性の向上による経営の安定
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手への農地の集積を進め、経営規模の拡大や生産性の高い農業経営を進めます。</li> <li>・ 台風などの気象災害に強い耐候性ハウスの導入と関連設備などの整備を支援します。</li> <li>・ い草・畳表生産に必要なハーベスターの導入支援のほか、移植機の生産再開をはじめとした機械化体系の維持に努めます。</li> <li>・ 有害獣被害防止のため、防護柵設置などを支援します。</li> <li>・ ICT技術の活用による品質及び生産性の向上を図るとともに、QRコードなどによる消費者への情報発信を進めます。</li> <li>・ 国が実施する農の雇用事業や、外国人技能実習制度の活用を含めた労働力の確保に努めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_農林水産政策課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機構集積協力金交付事業、農地中間管理事業において、農地中間管理機構を通して農地の貸し借りをを行い、担い手への集積の推進を図った。</li> <li>・ 利子補給等事業として、「自立経営体育成資金利子補給事業」、「台風被害対策農業資金利子補給事業」、「新型コロナウイルス対策経営安定資金資金利子補給事業」を実施した。</li> <li>・ 担い手づくり支援交付金事業において、令和2年度に事業が採択された「融資主体補助型」と令和2年7月豪雨で被災した農業者に対する「被災農業者支援型」を実施した。</li> <li>・ 担い手確保・経営強化支援事業において、国庫補助を活用して4経営体の農業経営の発展に向けた機械や施設の導入支援を実施した。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策事業として、売上が減少した農林漁業者の事業継続の支援を実施。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	集積面積は順調に増加しているものの、高齢化や人口減少による担い手不足のため、今後、農地の受け手を確保することが難しくなっている。 一度荒れてしまった農地は、復旧することが難しく、再度農地として利用されるケースがほとんどないことから、耕作放棄地の解消の取組を推進しながら、併せて、発生した未然防止対策が必要である。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地中間管理機構を活用し、遊休農地や離農により空いた農地などのマッチングによる貸し借りを推進し、農地集積による担い手の経営規模拡大、生産性の向上の取組を支援するとともに、耕作放棄地の未然防止につなげる。</li> <li>・ 「利子補給事業」については、気象災害等からの復旧に関する資金制度や新型コロナウイルス感染症に関する資金制度が、本事業の対象となるため、国・県の事業実施に合わせて必要な対応を行っていく。</li> <li>・ 気象災害にて被災した農業者に対し、早期の復旧や営農再開を支援するため、各関係機関と連携して、必要な事業の迅速な実施と周知を図る。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	農林水産部_農業振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ い草ハーベスタについては平成29年度から令和1年まで3か年で合計101台を導入。い草移植機については、令和2年度に20台導入、令和3年度に51台導入し、苗処理機は令和2年度に23台、令和3年度に46台導入。またい草関連機械のオーバーホールに対し一部補助を行うことにより、い草機械の延命等に取り組んだ。</li> <li>・ 生産者情報を消費者が確認できるQRコード付きタグの挿入について、生産者へ推進を行った。また消費者等へのタグのPRを行った。</li> <li>・ 産地の高収益化及び生産基盤の強化等を図るための施設整備や機械導入の支援に取り組んだ。</li> <li>・ 露地野菜等の有害鳥獣被害対策として、防護柵設置の取組に対して支援を行った。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ い草関係の機械については、生産が終了したのもあることから、今後い草・畳表生産を続けるにあたり、生産終了した機械をどうするかが、課題となる。</li> <li>・ い草生産に関しては、初期投資がかかること等により新規参入が難しく、生産者の高齢化も進むことから、担い手の確保が課題となる。</li> <li>・ 近年、鳥獣被害が増加していることで、生産者の経営を圧迫し、営農意欲を低下させる原因になりつつある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ い草関係機械については、産地継続のため今後も国・県・市・関係団体等と連携しながら計画的に支援対策を行っていく。</li> <li>・ 鳥類被害については、生産者と行政が一体となって被害防止に向けた新たな取組みを実施するとともに、その他の被害対策についても、継続して実施していく。</li> <li>・ スマート農業の推進については、国や県が実施する事業を活用しながら生産者のニーズに沿った取組みを支援していく。</li> </ul>
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1 活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	32:農業
具体的な施策【施策】	71:農村環境の整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の補助事業をさらに有効活用し、県との連携を深めながら、排水改良による農村環境の整備に努めます。</li> <li>・多面的機能支交付付金活動組織については、活動組織のさらなる広域化を進め、農村環境の保全に努めます。</li> <li>・農業集落排水処理施設の管理委託先との連携を密にし、故障などの早期発見に努めます。また、施設や管路の長寿命化対策として、関係機関との連携を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 農林水産政策課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のまちづくり協議会へ、昭和運動広場と郡築八番町運動広場の維持管理を委託した。</li> <li>・農林水産部所管の公共施設について、貸出及び使用料の収納、並びに施設、設備の維持管理等を行った。</li> <li>・多くの市民へ農業を理解してもらう機会の提供と、作付け、土づくり等を通して農業への愛着を持ってもらうために、市が運営する市民農園（36区画）において農地を貸し出した。</li> <li>・農村公園については、農村集落の憩いの場として、地域住民に安心して利用してもらうために、地元の愛護会等に管理委託し、適正な維持管理を行った。併せて、市において公園内の施設の修繕や、樹木選定等を実施した。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動広場においては、通常管理に必要な備品や施設の老朽化に伴う利用者からの要望が寄せられており、地元まちづくり協議会と業務委託契約に基づく協議を行う必要がある。</li> <li>・市民農園周辺は宅地化が進んでおり、いつまで維持できるかが不透明。</li> <li>・人口減少による施設の利用率低下が見られる一方で、農村公園や加工施設など所管するほとんどの施設で老朽化が進み、管理費の増加が懸念される。</li> <li>・人口減少による施設の利用率の低下及び、施設の老朽化による管理費の増加</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村運動広場の管理においては、利用者からの要望について地元まちづくり協議会と協議を行い、必要な対策を講じ改善を図る。</li> <li>・農村公園の管理は緊急度や利用率等に応じて、優先順位をつけて修繕等を行い、施設の安全性や機能の維持に努める。</li> <li>・市民農園については、貸出区画がすべて埋まっている状況であり、引き続き利用者の要望等も聞きながら利用しやすい農園管理を行う。</li> <li>・地域の各施設の管理については、当面は現行どおり運営しながら、地元の意向を十分に聞いたうえで、業務委託や経営移譲等も含めて管理方法等の見直しを検討する。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	農林水産部 農地整備課
	現状（進捗状況）	<p>各種の補助事業等を活用し、農地、用排水路、農道、排水機場等の農業生産基盤整備を推進した。</p> <p>多面的機能支交付付金活動組織については、新規組織の設立に向けた地域への働きかけを行い、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮と農用地等地域資源の保全管理を推進した。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>補助事業による採択は、地域のまとまりや農地集積に意欲的な点が重視されるなど、要件が厳しくなっている。</p> <p>近年、農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の維持・発揮と農用地等地域資源の保全管理に支障が生じつつある。</p>
	第2期計画の方向性	<p>採択要件等を十分説明し地域住民の理解を得たうえで、各種補助事業をさらに有効活用していく。</p> <p>新規活動組織の設立に向けた地域への働きかけを行い、今後とも適切な支援と助言を行うことにより、多面的機能の維持・発揮と農用地等地域資源の保全管理を推進していく。</p>
備考・コメント		

3	担当課かい名	農業委員会 農業委員会事務局
	現状（進捗状況）	<p>市内全域の農地の利用状況等の調査を実施し、耕作放棄地の解消、発生の未然防止に取り組んだ。また、各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員と協力して、荒廃農地等の現地調査、土地所有者への通知・指導を行った。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>利用状況調査は、市内全域の農地の耕作状況を調査する必要があるが、筆数が多く、また所有者不明農地も多数存在し、その対応に苦慮している。耕作放棄地や遊休農地の更なる利活用を図っていく必要がある。</p>
	第2期計画の方向性	<p>耕作放棄地や遊休農地、遊休化が懸念される農地が、円滑に担い手に集積されるような利活用の取組を推進する。</p>
備考・コメント		

	担当課かい名	建設部_下水道総務課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業集落排水処理施設の管理委託策からの維持管理状況の報告を受け、故障などの早期発見に努めた。</li> <li>・将来にわたって安定的に事業を継続するため財政当局と協議し、中長期的な経営を図るための基本計画「経営戦略」を策定した。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
4	課題	人口減による収入減が見込まれる。また、施設建設後20年以上が経過し、経年劣化による故障などは避けられない状況である。
	第2期計画の方向性	長期的に安定した事業運営や経営の健全化、計画性・透明性の向上を図り、さらには経営状況を正しくとらえ、内部的にはもとより利用者（市民）に対しても理解を求めていくため、地方公営企業法の適用を進めていく。
	備考・コメント	



## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	33:林業
具体的な施策【施策】	72:担い手の確保・育成
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな林業就業者の確保を図るため、就業意欲を喚起する研修を、県や教育機関と連携して行います。</li> <li>・国の「緑の雇用」制度の活用を促進します。</li> <li>・林業と建設業とのさらなる連携拡大により、多様な林業の担い手と山村地域の雇用の場の確保などを県と共に進めていきます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_水産林務課
	現状（進捗状況）	令和2年6月に林業関係者、県、市による「やつしろの山づくり推進協議会」を設立し、担い手対策について具体的にどのような事を行ってほしいか協議を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	協議の中で、賃金に関する雇用形態の問題や危険が伴う労働環境の問題等があることが分かった。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業に従事することの意義を積極的にSNS等を通じて発信する。また、労働環境改善のために、ドローン等を活用したスマート林業に取り組む。</li> <li>・林業関係高校への働きかけを行う。</li> </ul>
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	33:林業
具体的な施策【施策】	73:林業生産基盤の充実
施策の内容	・森林整備促進や木材生産拡大のため、また、山間部の生活道路の機能と災害時の迂回路機能強化のため、林道の整備を図るとともに、維持管理に努めます。

1	担当課かい名	農林水産部_水産林務課
	現状（進捗状況）	林道舗装事業については、平成30年度に10路線3,437m、平成31年度（令和元年度）に10路線3,090mの舗装を行った。令和2年度は令和2年7月豪雨により舗装を予定していた路線が被災したため1路線498mの舗装となった。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	令和2年7月豪雨による林道災害は甚大であり、災害復旧後でなければ舗装や改良事業が実施できない状況。
	第2期計画の方向性	令和2年7月豪雨による林道災害の復旧を優先的に行い、その後舗装や改良事業を可能な場所から行うようにする。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	33:林業
具体的な施策【施策】	74:林業経営の安定
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林境界や所有者の明確化を図り、森林整備の促進を図ります。</li> <li>・ 林地台帳の整備を図り、持続可能な森林経営計画を促進します。</li> <li>・ 高性能林業機械や木材加工流通施設などの導入により、林業・木材産業の経営の安定と森林所有者の所得の向上を図ります。</li> <li>・ 木造住宅への補助や、木の駅による間伐材や未利用材などの集荷を進め、八代産材の利用拡大を図ります。</li> <li>・ 「SGEC森林認証」を受けた森林から生産された木材の表示（ラベリング）により、八代産材のイメージアップを図るとともに、計画的に認証を継続するための条件をクリアします。</li> <li>・ シカやイノシシによる農林産物被害を低減するため、有害鳥獣対策を継続して進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 農林水産政策課
	現状（進捗状況）	財産区管理会を年2回開催し、所有山林の適切な管理等について話し合いを行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	所有山林のうち伐期を迎えた山林があるものの箇所によっては、自然災害防止の観点から伐採を見合わせている状況である。又、地域全体の高齢化等により管理会委員の確保が困難になっている。
	第2期計画の方向性	管理会を定期的で開催し、伐期を迎えた山林の伐採も含め、所有山林の適切な維持管理について話し合いを行っていく。又、高齢化等による管理会委員の確保についても、組織として活動可能な委員定数を管理会と協議を行っていく。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	農林水産部 水産林務課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林経営管理制度に基づき森林所有者の意向調査を令和元年度より泉、東陽地区で開始し、令和3年度より坂本地区も追加し実施中。</li> <li>・ 木の駅については個人会員が増加し、地域の木材集荷基地としての機能が発揮できるようになってきた。</li> </ul> 今後も未利用材の有効活用と地域経済の循環に寄与できるよう引き続き進めていく。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	森林経営管理制度に基づく森林所有者意向調査については、森林所有者の特定作業が難しくなっており、地籍調査課等と連携して取り組む必要がある。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林所有者への意向調査を引き続き進め、手入れされていない森林の整備に繋げていく。</li> <li>・ 市内から搬出された木材が市内で有効活用できるよう木の駅事業や市産材利用推進事業補助を継続して行っていく。</li> </ul>
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	



## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	33:林業
具体的な施策【施策】	75:森林の保全・育成
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽、保育、間伐などの森林整備を推めるため、国・県補助事業の嵩上げ補助などを継続して進めます。</li> <li>・森林の持つ多面的な機能を発揮させるため、適切な森林育成に結びつくよう、木の駅を活用した森林整備の推進、各種イベントなどを通じた啓発活動や緑化推進活動を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 水産林務課
	現状（進捗状況）	<p>造林事業の嵩上補助については、事業実施主体である森林組合の事業量に応じた補助を行い、植え付け、下刈り、除伐、保育間伐等の事業を進めることができた。</p> <p>また、緑の募金を活用した緑化推進活動や木育活動を行うことにより、市民へ森林の大切さや木を使うことの意義など啓発することができた。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	造林事業の嵩上補助については、現在活発に行われている主伐後の植え付けに伴う地拵えやシカ侵入防止ネット設置などの事業が増加する可能性があり、事業を円滑に実施するためにも、嵩上補助の拡充等行う必要がある。
	第2期計画の方向性	<p>造林事業の嵩上補助について、令和2年7月豪雨災害により施策が遅れている坂本地区の森林整備を進めるために、事業費の拡充を行い対応する方針。</p> <p>また、現在不通となっている林道や作業道の復旧を急ぎ、森林整備作業の効率化を図る。</p>
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	34:水産業
具体的な施策【施策】	76:担い手の確保・育成
施策の内容	・熊本県で新たに制定された「新規就業者確保定着推進事業」の周知などによる新規就業への支援を行います。

1	担当課かい名	農林水産部_水産林務課
	現状（進捗状況）	・担い手の確保と育成を目的とした、水産振興アドバイザー業務において、豊富な知識と経験を活用したアドバイザーによる新規就業希望者とのマッチングや技術支援を図った。 ・各漁協に対し、新規就業希望者に対する支援制度の周知を図った。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	本市の水産業を取り巻く環境は非常に厳しく、漁業による安定的な生計が立てられない状況にあるため、本市への新規就業希望者がいない。
	第2期計画の方向性	本市の水産業を取り巻く厳しい環境を改善するため、漁業者に対し「漁業就業及び情報通信技術導入」に関するアンケート調査を実施し、就業しやすい環境の整備と漁業活動の効率化を図るなどスマート水産業に取り組む。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	34:水産業
具体的な施策【施策】	77:水産業生産基盤・環境の整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県営覆砂事業により、アサリ漁場を造成します。</li> <li>・ ナルトビエイの捕獲などによる水産物の食害対策を進めます。</li> <li>・ 漁場環境・生態系保全を目的とした、水産多面的機能発揮対策事業の活動を支援します。</li> <li>・ 漁場環境保全に資する漁場清掃と安全な船舶航行を図るため、航路標識設置を支援します。</li> <li>・ 関係者との協議を引き続き行い、市管理漁港の機能保全計画を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 水産林務課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県営覆砂事業において、アサリ漁場の造成を4地区（6か所）行った。また、ナルトビエイの捕獲によるアサリ等の食害対策を進めた。</li> <li>・ 漁場環境・生態系保全を目的とした、水産多面的機能発揮対策事業を実施している3つの活動組織や、安全な船舶航行を図るための航路標識設置に取り組む漁協に対し支援を行った。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	漁場環境や生態系保全のために活動を行っている組織や漁協においては、漁業者数の減少と高齢化が問題となっており、今後の活動等に影響する恐れがある。また、令和2年7月豪雨によりアサリにおいては、成貝がへい死するなど甚大な被害を受けたことから、早期の水産資源の回復を図る必要がある。
	第2期計画の方向性	水産多面的機能発揮対策事業を行う活動組織を拡充させ、令和2年7月豪雨で被害を受けたアサリ等の水産資源の回復を図る。また、漁業者数の減少と高齢化対策として、漁業者にアンケート調査を実施し、漁業活動の効率化を図る。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	34:水産業
具体的な施策【施策】	78:漁業経営の安定
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域水産業活性化支援事業により、八代産水産物の高付加価値化などを図ります。</li> <li>・ 漁業者の経済的負担軽減及び経営安定・強化の支援を図ります。</li> <li>・ 魚（魚調理）離れが進んでいる現状の対策として、県内の保育園から高校、一般向けに魚料理教室を開催するなど、魚食普及推進活動を行う熊本県魚食普及推進協議会に引き続き参画します。</li> <li>・ 市内の広範にわたる漁業協同組合間の協調を図るため、各種協議会を運営します。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部 水産林務課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域水産業活性化支援事業により、「青のり」や「味付け厚切りナマコ」のバック詰めの開発と販売に係る経費を一部補助した。</li> <li>・ 魚食普及活動では、「八代の地魚料理教室」や「アユのつかみ取り」等のイベントを開催した。</li> <li>・ 水産基盤整備交付金事業により、漁協が所有する漁船や漁港外灯の修繕や耕うん、航路整備を実施した。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	八代水産物の高付加価値化では、アサリやアオノリのブランド化等が考えられるものの漁獲量が安定しない。漁港施設の老朽化に伴い、補助事業等の採択要件に適合しない小規模な修繕等が増加する傾向にある。
	第2期計画の方向性	八代水産物の品質向上や高付加価値化においては、水産業者等が行う水産振興策に対し補助を行い、漁業者の所得向上を図る。また、補助事業等の採択要件に適合しない小規模な修繕等においては、その事業内容を精査しながら各漁場の状況に応じた整備を行うこととする。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	34:水産業
具体的な施策【施策】	79:栽培漁業の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稚魚・稚エビの放流などの栽培漁業振興による「つくり・育てる」漁業を進め、担い手確保に資する、継続的に安定した漁獲量の増加（収入増）につなげていきます。</li> <li>・ アサリの着底促進基質や被覆網を活用し、資源の保護・増加を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_水産林務課
	現状（進捗状況）	・ 計画的に、稚魚（ヒラメ・アユ・ウナギ等）及び稚エビ（クマエビ・ヨシエビ等）の放流事業を実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	稚魚や稚エビの放流においては、各漁協と協議し計画的に行っているものの、漁獲量に繋がっていないものもある。
	第2期計画の方向性	本市の水産業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況であるため「つくり・育てる」栽培漁業の重要性は非常に高い。したがって、水産資源の回復・増大を図るため、放流効果が高い種苗又は、漁家経営の安定につながる種苗への切り替えについて検討する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	35:商業
具体的な施策【施策】	80:魅力ある商店街づくりの促進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に親しまれる商店街となるよう、空き店舗解消に向けた施策を検討します。また、商店街のにぎわいづくりを後押しするため、商店街が行うイベントの開催を支援します。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	中心市街地の活性化を推進するため、まちなか活性化協議会などの団体が実施する事業に対し支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業所に対し、支援金等を支給するとともに、新型コロナウイルス感染への感染予防対策を実施した事業所に対し、補助金を交付した。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	中小企業等事業継続対策特別支援金や、飲食店等緊急特別支援金などの制度を創設し、新型コロナウイルスの感染拡大により売上が減少した事業所に対し、早急な支援を実施することができた。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、中心市街地での集客イベントの多くが、縮小、中止になった。コロナ収束の見通しができないため、今後も多様な業種の事業者への支援は必要になるとと思われる。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか活性化協議会で、市役所新庁舎や八代市民俗伝統芸能伝承館などの来館者を巻き込んだイベントの開催ができるよう支援するとともに、「こいこい広場」や「SUNABACO八代」を有効活用し、中心市街地の賑わい創出を図る。</li> <li>・景気の動向や新型コロナウイルス感染状況などを注視し、国や県、経済団体と密に連携しながら、市内事業者などへの支援を実施する。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		



## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4 地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1 活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	35 商業
具体的な施策【施策】	81 中心市街地の活性化
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心商店街へ多くの市民の方に来ていただけるよう、商店街やまちの魅力づくりのため、商店街などへの支援をし、今後行われる新庁舎建設に合わせたまちづくりへの支援に努めます。</li> <li>・ まちづくりとしての長期的な視点を持って、一貫した方向性で中心市街地の活性化に取り組みます。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらイベントの実施等により中心市街地に人流を創出し、滞在人口や交流人口を増加させるための取組を実施した。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ中心市街地への人流の回復が課題となる。 八代市民族伝統芸能伝承館、八代市役所新庁舎の開業により中心市街地の環境や人流に変化が現れるものと推測される。 こうした変化にどのように対応するかが課題となる。
	第2期計画の方向性	中心商店街につながる人流を創出できるよう、新たに開業する施設や関係団体等と連携し一体となった事業を実施する。 また、コンパクトシティの実現として、中心市街地における文化施設が桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール）に絞られることから、長期的な活用を見据えてハード・ソフト両面で効率的かつ計画的な事業実施・保守改修等を実施していく。
備考・コメント		

2	担当課かい名	経済文化交流部_イベント推進課
	現状（進捗状況）	市民に広く定着し、本市を代表する祭りとして開催されている「八代くま川祭り」は、各界各層の代表者で構成される振興会と、企画立案を担う市民ボランティアによる実行委員会構成され、前回までの反省や参加団体へのアンケート結果等に基づき、市民のニーズを取り入れながら実施した。しかし、令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、開催中止となったが、「オンライン八代くま川祭り」などの代替イベントを開催し、祭りの周知に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、祭りの開催が出来ず、目標を達成できなかった。 参加者の声を活かしながら、民間委託の推進、コスト削減や業務改善に取り組みつつ、市民に愛される祭りとして効率的・効果的な運営に努めていく必要がある。
	第2期計画の方向性	参加者の意見を反映するためのアンケート等を活用し、今後も参加したいと思わせるような祭りの企画立案を行い、併せて市全体で祭りを作り上げていく機運を高め、「市民総参加」を進めるため、企画及び運営への市民参加を促進する。 あわせて、新型コロナウイルスなどの感染症への感染防止対策を講じるなど、参加者が安心して参加できるよう努める。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	36:企業振興
具体的な施策【施策】	82:地域での雇用・就労の促進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代圏域ツナガルインターンシップ事業の実施により、学生やUターン希望者に対し、企業情報の提供を行うとともに、企業の価値と魅力を高めるしくみを構築します。</li> <li>・市民が求める職種に関連する企業の誘致を進めることにより、雇用機会の創出に努めます。</li> <li>・求職者に対する支援として、資格取得に対する支援、就職面接会の開催、職業相談室の設置などを継続します。</li> </ul>

1	担当課かい名	総務企画部 企画政策課
	現状（進捗状況）	東京等で開催される移住相談会等へ参加し、移住希望者に対し、本市の支援制度や地域情報の発信に努めた。また、若者の市外流出抑止等のため、平成30年度より新たに「やつしろ学生ラボ事業」に取り組み、研究生として、平成30年度は13名、令和元年度は23名、令和2年度は14名の参加があった。 なお、令和2年度においては、東京等で開催予定であった移住相談会等が、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったことから、代替として開催された、オンラインによる移住フェアへ参加した。また、やつしろ学生ラボ事業については、感染症対策を徹底したうえで研究会を5回開催し、研究成果の発表会をオンラインにより開催した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	移住を希望する方等に対して、本市の情報をいかに的確に、かつ魅力的に伝えるのが課題である。 また、情報発信の方法についてもSNSの活用など、新たな方法を検討する必要がある。
	第2期計画の方向性	移住希望者への情報発信のため、移住相談会等については、オンラインでの開催を見据え八代の情報がより伝わるよう工夫を凝らし積極的に参加する。また、若者の定住、もしくは将来の関係人口創出のため、継続してやつしろ学生ラボ事業に取り組み。 さらに、都市部の若者世代をターゲットとして、住みたいまち、働きたいまち、育てたいまちと考える八代市独自の特色ある事業を実施するとともに、その情報発信を行う。その足掛かりとして、八代市へ転動してきた方及び八代市出身の都市部在住の方等に移住定住に関するアンケートを行い、ニーズを把握した上で事業を展開する。加えて、本市の移住定住窓口を一本化するともに、SNS、HPなどのオンラインコンテンツの充実を図る。 移住・定住を促進するため、ターゲット（人、地域、セールスポイント等）を明確にし、仕事や住居等のマッチングを行う。
備考・コメント		

2	担当課かい名	坂本支所 坂本支所地域振興課
	現状（進捗状況）	地域おこし協力隊員の募集について、八代市及び一般社団法人移住・交流推進機構ホームページへ記事を掲載した。2名の募集に対し、7月に1名の応募があったものの採用まで至らなかった。新たな取組みとしてUターン就業希望者を見込んで支所だよりに募集記事を掲載したり、地域おこし協力隊希望者が登録されているリストに基づくマッチングシステムを活用するなど合わせて再度募集したところ、10月に新たに1名の応募があった。 応募者に対し、11月に「おためし地域おこし協力隊」として住民自治協議会へ委託して、2泊3日の町内の名勝及び事業所等の案内を実施した。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	過疎を課題としている他の多くの自治体も同様の施策を実施しており、獲得競争が激しくなっている。従来から特に著名な観光地や特産品がなく、合わせて国道219号線が未だに通行が規制され、球磨川をはじめ清流が売りの各支流も改修工事が長期化することは避けられず、条件的には不利な状況である。
	第2期計画の方向性	坂本町の新たな産業・観光の開発を自由な発想で取り組むことができることをアピールして、意欲のある人材を確保するため、今後はホームページへの掲載のほか、若い世代のアクセスが多いSNSへの掲載を強化して、住民自治協議会と協力しながら募集を続けていく。
備考・コメント		

3	担当課かい名	経済文化交流部 商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	・八代圏域ツナガルインターンシップ事業として、市内高校生向けインターンシップ、職業講話、マナー講座のほか、大学生向けインターンシップ座談会への参加、企業紹介冊子の発行などを実施した。 ・求職者の希望が多い、事務的職業、IT関連職業の企業に対し、企業誘致活動を展開するとともに、人材のスキルアップについても支援を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	・コロナ禍によって、経済や雇用が不安定な状態にある。 ・一方で、企業や人の地方移転に前向きな考えも広がっているため、積極的な施策展開により、本市の認知度を向上させる機会でもある。
	第2期計画の方向性	・地域での雇用・就労を促進するためには、進学や就職で県外に転出した者、また、Uターンを希望する者に、本市での就労を選択肢に入れてもらえる取組みが必要。 ・そのためにも、本市で働くことに魅力を感じていただく必要があり、地域企業の魅力を把握し、適切に伝えていくこと、また、新たな事業が興りやすい地域、風土、文化を作り上げていくことに取り組んでいく。
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	36:企業振興
具体的な施策【施策】	83:地場企業の育成
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代市企業振興促進条例に基づき、企業が設備投資をしやすい環境を整備します。</li> <li>・従業員や経営者の研修受講を支援します。</li> <li>・企業が新規事業にチャレンジするなど、積極的に付加価値を高める取組みに対して支援します。</li> <li>・八代圏域ツナガルインターンシップ事業の実施により、雇用の確保と経営の見直し、付加価値を拡大できるしこみを構築します。</li> <li>・「八代市工業振興協議会」の活動を支援し、地場企業と熊本高等専門学校との連携による、新たな価値の創出を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代市企業振興促進条例に基づく支援制度等を紹介し、企業の設備投資を促進。</li> <li>・産業活性化人材・企業育成支援事業により、従業員や経営者の研修受講料等に補助金を交付。</li> <li>・未来チャレンジ企業創出支援事業及び未来創造塾運営事業により、企業の新事業創出を支援。</li> <li>・八代圏域ツナガルインターンシップ事業により、企業の人材確保や経営改善につながるセミナー等を実施。</li> <li>・「八代市産業振興協議会」の活動を通して、地場企業と熊本高等専門学校の連携を促進。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	商業分野では、コロナ禍の影響が色濃く、危機を乗り越えるためにも、しばらくは積極的な支援が必要。工業や情報通信関連分野では、活況な業種も見受けられるが、新しいテクノロジーに積極的に取り組んでいく事業者とそうではない事業者との差が、業績にも反映される状況が出てきているため、本市の事業者がテクノロジーの波に飲み込まれないよう支援を行っていく必要がある。
	第2期計画の方向性	DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務効率化や生産性向上やテレワーク等の拡大による働き方の変化などに乗じて、地方に目が向けられる場面も増えてきている。このような企業の動きを捉え、先んじて支援制度を打ち出す自治体が、人口減少社会においても生き残っていくと言われているため、引き続き、先を見据えた積極的な支援を行っていく必要がある。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	36:企業振興
具体的な施策【施策】	84:企業誘致の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業訪問、情報発信など、県や関係機関とも連携し、継続した企業誘致活動を実施します。</li> <li>・ 企業の投資や雇用に対する支援を充実させることで八代市への立地を促します。</li> <li>・ 企業誘致あるいは、市内の既存企業が拡張する際の受け皿となる用地の確保に関し、調査・検討を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業訪問、情報発信など、県や関係機関とも連携し、継続した企業誘致活動を展開。</li> <li>・ 平成30年度、令和元年度は、企業の投資件数が合併後最多の17件を記録。令和元年度以降、情報通信関連企業の進出も相次ぎ、求職者の選択肢拡大にも寄与している。</li> <li>・ 急速に進むデジタル化の流れに対応できるよう、ICT人材の育成にも取り組んでいる。</li> </ul>
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八代外港工業用地が完売したことにより、すぐに工場等が進出できる用地が無い状況。</li> <li>・ 農林水産部、建設部等と連携し、企業が進出する際の用地確保にスムーズに対応できる体制が必要。</li> <li>・ 進出や規模拡大する企業が必要とする人材の確保について、行政ができる支援を検討し、対応していく必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市としての負担を抑え、民間の協力を得ながら、企業の進出、拡大に対応できる用地、物件の確保を行う。</li> <li>・ 企業の人材確保に対し、人材のスキルアップや雇用の関する広報等の支援を行う。</li> </ul>
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1:活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	37:フードバレー
具体的な施策【施策】	85:食の拠点・ブランドづくり
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然と産業、特産品を活用した6次産業化・農商工連携を進め、高付加価値化を図ります。</li> <li>・食文化を活かした食育と健康づくりのPR活動を実施します。</li> <li>・食関連産業の振興とともに、広域交通利便性を活用した産業拠点づくりに取り組みます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_フードバレー推進課
	現状（進捗状況）	食関連事業者や生産者に対して、6次産業化推進アドバイザーによる新商品開発に関する指導・助言を実施し、本市特産品の付加価値化につながる新商品が過去3か年で21商品完成し販売されている。また、経営に関する総合的なマネジメント等についての指導・助言を実施し、6次産業化、農商工連携の推進に取り組んだ。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新商品は開発されているが、商品によっては売れ行きに差が生じている。売れる商品開発のため消費者の視点にたった商品開発、販路の確保が課題である。
	第2期計画の方向性	ふるさと納税プラットフォーム等を活用した、消費者ニーズの視点に立った商品づくり、また、民間ECサイトを活用した販路の確保を推進する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4: 地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	1: 活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり
分野	37: フードバレー
具体的な施策【施策】	86: 国内外の販路・連携体制づくり
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代港を活用したアジア・首都圏との流通拡大を図ります。</li> <li>・担い手の育成と人材育成強化のための体制づくりに取り組みます。</li> </ul>

1	担当課かい名	農林水産部_フードバレー推進課
	現状（進捗状況）	アドバイザーや都市部派遣職員と連携し、食品製造メーカーやバイヤーなどに対し、本市農林水産物や加工品などの提案活動を実施。また、コロナ下における新たな販路開拓のため、国内外の民間ECサイトへの登録推進、オンラインによる商談会、海外飲食店でのフェアを実施。さらに海外輸出を検討している事業者を対象としたセミナーを開催した。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	本市の食関連産業においては、小規模事業者が多く、大手企業やメーカーが希望する大口ロットへの対応が1事業者、個々の農林水産業者だけでは対応困難、また、バイヤーより取引の窓口を1か所ですできないかとの要望があるが、対応できない状況にある。さらに新型コロナウイルス感染症の発生による商談会・フェアの中止など商談の機会が激減した状況であることから目標に達していない。
	第2期計画の方向性	物産館などを活用し、大口ロットやバイヤーの要望に対応可能な地域商社機能の構築、民間ECサイトやオンライン商談会など、インターネットを活用した新たな商談機会の創出に取り組む。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	